



〒 915-0823  
 福井県武生市本町 10-2  
**大寶寺**  
 TEL/FAX (0778) 22-1682

無差別テロ、自由と民主主義の流布を大義としてかかげる近代的兵器を

用いたゲームのような戦争。インターネットという空間の中で妄念を育て、ついにはカタナイフで同級生を殺害した長崎の小学生。

潤いをもたらすはずの科学物質文明の発達は、逆に精神文明の荒廃をもたらしているかのように思われます。

そういう時代だからこそ、ご先祖が慈しみはぐくんできた生活習慣や考え方の中に心の潤いを見いだすことが大切なのではないでしょうか。

お盆はそのような行事のひとつのように思われます。

さて、武生、鯖江、福井市内では、もうすぐ新盆がやってきます。「盆」と正月の里帰り」などといわれるように、お盆は昔から日本人の心に深く根づいた風習・行事です。

お盆の行事は「盂蘭盆経」というお経によつていきます。お釈迦さまの十大弟子で「神通第一」といわれる目連さまがお釈迦さまの教えにしたがつて、佛さまやお坊さん、また一

般の人々に供養をすることによつて、先になくなった自分の母親を、餓鬼の世界から救済することができた、というお話から始まりました。

お盆という行事を通して得られる感性は物質文明に惑わされることなく豊かな精神を育む上でとても大切なことのように思われます。

【大宝寺棚経予定】

新盆

七月十四日

武生市内

七月十五日

福井、鯖江市内

旧盆

八月十二日

具谷、湯尾

八月十三日

燧、南条、武生周辺地区

八月十四日

鯖江、森行、浅水

八月十五日

栗田部、中居、五分市、北村、国高、村国、八幡

八月十五日

五郎丸、上鯖江

八月十六日

檉津



て御霊をお送りするという習わしがあります。

武生の灯籠流し

以前はお墓参りのときには墓地に子供たちがたむろし、お供え者のお菓子や果物にあやかつたものです。

また十五日の夕方になるとろうそくをともした灯籠を先頭に、お線香、お供物をもって家人とともに日野川まで行列をしました。

灯籠やお供えものが下流の河

武生市内では七月十三日にお墓参りをしてご先祖をお迎えし、十四日に自宅の仏壇で僧侶を迎えて回向をし、十五日には日野川で灯籠を流し

川を汚すということで、灯籠流しはいつたん禁止されましたが、昔からの習慣を復活したいということで、数年前に蓮花の会（シルバー人材センターの有志の方々）の協力で帆船橋から万代橋間で灯籠流しが復活しました。

灯籠には初めてお盆を向かえるご先祖さま用の白い花弁のものと、通常の桃色の花弁のものがああります。

灯籠は各町内の八百屋さんで予約販売されています。

皆さまも日野川の川縁で、ろうそくの炎に揺らめく白やピンクの蓮の花弁が水面にゆらめくさまを眺めながらご家族でご先祖に思いをはせる



【灯籠を流す場所】

万代橋の少し下流、村国山側。流した灯籠は下流で回収して数日乾燥したあと、僧侶の読経のあとお焚き上げをすることになっています。

○しだれ桜の下でお花見

今年も桜が昨年にも増して早く咲きました。四月三日にお講さんのお仲間でお花見をしました。風は舞うピンクの花びらの下でのお弁当。とても風流な一時を過ごしました。大宝寺では毎月十二日にお講さんをして、お経を読む練習をしています。関心がありでしたら、寺までご連絡下さい。



○第三十五回信行奉仕団



六月八、九日と総本山知恩院にて二十五名の参加者でおつぎの奉仕をしました。梅雨の雨の中を出発しましたが、京都につくころには小雨になりました。今年には中村御門主猊下のご挨拶もいただき、また、大殿のお内陣の畳のふき掃除をしたり、濡神明神に案内してもらったり例年とはひと味違ったおつぎとなりました。

二日目は前日の雨も上がり、古代友禅苑で古い着物や職人さんの細かい絵付けの作業を見学したり、兵庫県の永沢寺で花菖



蒲園を見学したり、丹波篠山などを訪問しました。岐路の舞鶴若狭自動車道のサーブエリアではガイドさんに勧められて山のように黒豆パンを買うはめになりました。来年もおつぎの旅行を企画致しますので、ぜひご参加ください。

○永代経法要

六月十九、二十日と永代経の法要をつとめさせていただきました。今年には伊勢教区の新見上人より御法話をいただきました。お米やお野菜などあげていただきありがとうございます。

○撞木（しゅもく）取替



六月末に具谷の谷口さんのお力添えで、ヒビが入っていた鐘楼の撞木を取り替えていただきました。撞木の材料となるシュロの木は乾燥に時間がかかるので大変であったとのこと。大宝寺では毎朝七時に鐘をつくことにしていますが、撞木を変えたことで重厚な音色が近所に響き渡っています。



指員導とともに知恩院集會堂にて (H15年撮影)

○新盆参り・棚経

七月十三日～十五日（前頁参照）お墓参り用の灯籠が本堂の欄干のところにしていますので市内のお檀家様はお持ち下さい。

○総墓参り

八月十日盆施餓鬼会  
一霊二万円でお施餓鬼のご供養を致します。お申込みは寺までお願い致します。お施餓鬼でお供え頂いた供物本堂にて参詣の方々に分け頂くことになっていきます。また、観音堂にて三百円で水塔婆をお求めいただき総墓にお供えいただくことができます。

○旧盆棚経

八月十二日～十六日（前頁参照）

○秋季彼岸会中日

九月二十三日

○福井教区こどもの集い

期日 七月二十九日～三十日  
場所 敦賀西連寺、参加費二千円  
および交通費、対象小学三年から小学六年および保護者、申込は七月二十一日までに

○おつぎ子ども奉仕団

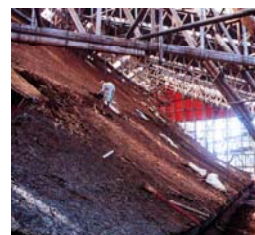
期日 八月十九日～二十一日  
会場 総本山知恩院、対象小学四年より中学三年、参加費用無料、交通費四千円程度、申込みは七月二十日までに

右のふたつはこどもさん対象の研修会の御案内です。お仏壇の前で手を合わせる事ができる素直な心を育みます。

ます。他門、他寺院のお子様でも参加いただけます。引率は寺もしくは教区で致します。詳しい説明とお申し込みは大宝寺まで。

○知恩院元祖大師八百年大遠忌募財

先に見出しのご寄付をお願い致しましたところ、早速のご志納またお問い合せを頂きましてありがとうございます。



大方丈屋根修復作業

総本山ではすでに大方丈、女人坂などの修復とやかかっております。このお願いは平成二十三年までのことではございますが、できましたら早めにお願ひ致します。志納方法がいささか煩雑でわかりにくいところがあるかも知れませんが、遠慮なく寺の方にお問ひ合わせください。また、ご一報いただければ寺から頂きにありがとうございます。

○秋初穂のお願い

武生市内の壇信徒の皆様には七月中に寺から秋初穂を頂きにあげりますので、よろしくお願ひ致します。

○五重相伝について

来年、平成十七年十月六日から十日にかけて大宝寺において五重相伝会がいとなまれます。浄土宗の教えの神髄を相伝する法会です。受者には戒名が授与されます。また、御先祖に戒名を送ることもできます（送り五重）。今後、さらに詳しい御案内をいたします。